

西中だより

学校教育目標

目指す生徒像：豊かな心と学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる生徒

目指す学校像：すべての生徒に喜びと感動を育み、笑顔あふれる西中学校

川口市立西中学校

〒332-0028

川口市宮町16-1

Tel 048-253-1231

Fax 048-251-6792

令和7年2月28日発行（3月号）

ぼくが一生の間に会えるひとにぎりの人の中に、あなたがいました

校長 三浦 伸之

県公立高校受検日の前日、3年生の女子生徒2人から「これに何か書いてください。」と小さなメモ用紙を手渡されました。この2人の生徒は公立高校を受検する生徒だと記憶していたため、すぐに受検に向けての応援メッセージのことだとわかりました。急なことだったので、その時に思いついた言葉が「人事を尽くして天命を待つ」でした。

できる限りの努力をしたならば、あとは天の意思に任せよう、それだけの努力をしたのだから、どんな結果になろうとも後悔はしないという意味で使われることが多いでしょうか。その時は、まだ受検は終わっていませんでしたが、最善を尽くして欲しいという気持ちを込めて書きました。

その生徒から「どういう意味ですか。」と聞かれたので、「やるべきことをすべてやって、あとは天に任せようという意味です。」と答えました。すると「やるべきことってやってきたかなあ。」と生徒。「まずい、不安にさせてしまったか・・・。」と思い、「自分を合格させなければ高校は損をするよ！くらいのオーラを感じさせるといいかもね。」と自分でもよく意味がわからないことを伝えると、「はい、頑張ります！」と言って元気よくその場を後にしていきました。何か心に落ちてくれたのでしょうか。人事を尽くしてなのか、オーラなのか、それともどちらの言葉も落ちなかったのか。生徒に自信をもたせてあげなければならぬ私自身が不安になりました。

さて、3年生の各教室にはクラスの生徒一人ひとりが作成した、卒業までのカウントダウンが黒板に掲示されています。「卒業式まであと〇〇日」という見出しの他に、生徒の思いが綴られたコメントが添えられています。残り少なくなった卒業式までの日々の中で、これまで日常だった学校生活に、「最後の〇〇、あと〇〇日」という言葉が付け加えられる、少し寂しさを感じる季節となりました。

人生を仮に80年として、人が一生で会える人の数は、何らかの接点を持つ人は30,000人、同じ学校や職場、近所の人3,000人、親しく会話を持つ人は300人、友人と呼べる人は30人、親友と呼べる人は3人という話を聞いたことがあります。

現在、世界の人口は約82億人と推定されていますが、この世界の人口から人と人との出会いの確率を計算すると驚きの数字になります。また、私たち人間は両親から生まれる70兆通りの可能性の中から奇跡が積み重なり、この世に誕生した生命だと言われています。人と人との出会いがいかに奇跡であるかは明らかです。

私たちは日々、当たり前のように人と出会っています。出会いが奇跡であるのなら、どんな人と出会おうと無駄な出会いとは1つも無いことが言えるのではないのでしょうか。

「ぼくが一生の間に会えるひとにぎりの人の中に、あなたがいました」という言葉は、約40年前のある企業の商品コピーです。そのCMの最後に「あなたに逢えたお礼です」というセリフがあります。

私はこの西中で素敵な76期生との出会いがありました。私は76期生の皆さんと3年間西中で過ごせたことに感謝し、ありがたい言葉を贈りたいと思います。また、76期生保護者の皆様、3年間にわたり本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたこと、そして、素敵な生徒たちと出会わせていただきましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

